

3. 特筆すべき活動 ((1)・(2) でA4用紙1枚)

- (1) 全学の教育研究に関する組織改編等への取組と協力, 特色ある教育GP等の採択状況と取組, 21世紀COE等の採択状況など。

国際高等研究教育院より指定授業科目の提供の依頼があったので, 研究科の4科目を提供することにした。

- (2) その他, 特筆すべき研究・教育・診療・社会貢献等への取組と成果, 世界的位置付け (ISI citation など) など。

特筆すべき研究・教育としては, 同和鉱業(株)および(独)産業技術総合研究所との包括的研究協力協定の締結ならびに「ヒューマン・セキュリティ連携国際教育プログラム」の実施などが挙げられる。

同和鉱業(株)とはこれまでも磁気記録用鉄粉を始めとする材料や土壌汚染物質の状態評価と土壌修復技術などに関する共同研究を実施していたが, 平成16年4月9日に包括協定を締結し, さらに広範囲な協力関係が構築され, 共同研究が進められている。これに先立ち, 平成16年4月1日より寄附講座がスタートし, 水熱化学を様々な環境技術へ応用するための基礎研究と実用化研究が実施されている。

また平成16年4月には(独)産業技術総合研究所と包括協定を締結し, 環境・エネルギーに関する共同研究をスタートしている。

さらに, 本研究科は, 医学系研究科, 農学研究科, 国際文化研究科と共同で東北大学に「ヒューマン・セキュリティ連携国際教育プログラム」を発足させることに合意し, 教育プログラムをスタートさせている。本プログラムは, 人間の生存と尊厳に対する脅威について, 食糧, 健康, 環境, 社会などの領域横断的な諸問題の複合的構造を理解し, 国内・国際社会においてヒューマン・セキュリティの実現に貢献できる人材を育成することを目指したものであり, 本研究科の特色ある教育プログラムの1つとなっている。

社会貢献としては, 宮城県との包括協定の締結, 出前授業の実施, 県民大学の開催, リカレント公開講座の開催などが挙げられる。

宮城県とは平成16年11月に包括協定を締結し, 宮城県への経済再生戦略への提言, 環境やエネルギーに関する基本計画, 環境基準の策定への参画を行なうとともに, 環境・エネルギーに関する包括的共同研究を推進している。

また本研究科では, 平成15年の開設同時から毎年, 宮城県内の小中学校へ出向き, エネルギー・環境に関連した出前授業を行なうとともに, 社会人を対象とした県民大学, リカレント公開講座を毎年開催し, エネルギー・環境問題に関する先端技術を分かりやすく解説している。